

ナゴト交配

# 黄こだまH



味よし、  
色よし、  
揃いよし。

1. 縹皮高球型の果重2~2.5kgの小玉。
2. 肉色が濃黄で明るくさわやか。
3. 糖度は12~13度と極めて高く安定。
4. タネが少なく食べ易く店持ちが良い。
5. 耐病性で着果が良く栽培容易。

# 黄こだまH 栽培の要点



## 特性

- 草勢は中位で 葉は小型の濃緑。子ヅル、孫ヅルの発生が良く、耐低温性・耐病性で強い。雌花の着性や花粉の発生が良く着果性は極めて良好です。
- 果実は2～2.5kgの小玉で腰高球型となり、地色は鮮緑地にやや太い暗黒色の縞がある。
- 果肉は明るい濃黄色で種子が少なく糖度は12～13と従来種よりも1～2度高く、果皮厚は0.3cmとうすいが強く、裂果もなく、輸送性、店持が良い。
- 成熟は極早性で、ハウス・トンネルは38～40日内外である。

## 栽培型

- ハウス促成の11～12月に播種、1～2月定植で、4～5月収穫の栽培に好適する。
- 大型トンネルは ビニール巾3～4mトンネルで、12～1月に播種、3～4月定植で、5～6月収穫にも着果が安定し高収益を上げることができる。
- 180cm内外の中型トンネル等で、6～7月収穫にも品質を安定させる耐病性を持っている。

栽培型	月別	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ハウス地這		○	●	●	●	●	●	●	●	●			
トンネル				○	●	●	●	●	●	●			
ハウス抑制										○	●	●	●

## 育苗のポイント

- 育苗の温度は 最高35℃内外、夜間は15～20℃とする。接木の栽培、台木はウウガオの耐病性種で、中勢または強勢種のFR-10・FR-ダントツ等が、青枯病耐病性で着果が良好です。

## 作型別の育苗日数

- ハウス+カーテンは 播種後65～70日、1～2月定植。
- ハウス+大型トンネルは 播種後60～65日、2～3月定植。
- ハウス+小型トンネルは 播種後50～55日、3～4月定植。
- 大型トンネルは 播種後45～50日、4～5月定植。  
大玉種と比較して 7～10日大苗を定植することにより着果が安定し収量を多くすることができる。

## 定植後の温度管理

- 着果性が良好で少日照に強いため、ハウス、トンネルは35～40℃内外の高温を好み、晴天日の換気を省力化することができる。夜間は最低温度を8℃内外まで低く管理する。

## 整枝と着果

- ハウス、トンネルは 一方向の整枝とし、ハウス等は子ヅル3本立の1株2果収穫、トンネルは4本立の3果収穫とし、いずれも子ヅルの間隔を20cm内外とする。
- 着果節位は、子ヅル18～23節内外に同時着果とする。
- 着果過多は小果となり易く玉揃いが不良になり易いので、摘果をする。
- 着果授粉は 定植後40～43日目内外で行うことにより、着果、玉揃いとも良好となり、授粉作業も短期間に終了することができる。

特約店